

『水道橋久さん 3年前からの障害福祉サービス利用の状況』

3年前、共同生活援助(GH)ピアハウスと就労継続B型スマイルの利用が開始された。サービス担当者会議で、ピアハウス(GH)での生活やスマイル(就B)での仕事の様子など、情報共有がされ両事業所のサビ管が中心となり支援の組み立てを行ってきた。

～現在の様子～

《共同生活援助(GH)ピアハウス》

家事全般は、自分でできることが増えてきているが、スマイルでの仕事を頑張っているせいか動きが緩慢であったり、促しの声掛けが必要なことも多く確認されている。また朝起きられず世話人に起こしてもらうことが増えてきている。世話人(豊田)の久さんの疲れている様子を心配していた。

3か月前、ピアハウスに精神科病院から退院してきた男性(日野さん)が入居した。

《就労継続支援B型事業所スマイル》

早起きが苦手なのを考慮し、遅くても昼食に合わせて通所してもらうよう対応している。この時間設定にするとスムーズに通所ができ、カフェでの仕事に自信が持てるようになり、接客面、皿洗いなど精力的にこなしている。

2か月前、ピアハウスの隣町にある就労A型事業所 えがお に空きがでたと情報が入り、急遽見学と体験利用を行い、本人からも利用したいと希望が出たため、サービス担当者会議(本人(久)・父親(つばさ)・相談支援専門員(六本木)・ピアハウスサビ管(川崎)・世話人(豊田)・スマイルサビ管(本田)・生活支援員(鈴木)・就業・生活センターの就労ワーカー(市川)・A市福祉課(長坂))を開催し、本人の意向を確認し1ヶ月後に就労継続支援A型事業所えがおへ移行することができた。現在、就労継続支援A型事業所えがおを利用し1ヶ月が経過(11:30～16:00までの4時間勤務 通所日:火・水・木・金・日 休日:月・土)

事例②(1ヶ月～半年後の経過)その1

共同生活援助(GH)ピアハウス》

世話人の豊田さんが3月末で退職され、新しい世話人の岡崎さんが久さんの担当となりました引継ぎの際、サビ管(川崎)から、個別支援計画書等伝達は共有されていたが、岡崎さんは日々の業務に追われ、久さんに対して細かい配慮が行き届かない状態(言葉遣いや態度など)また、会議等にも参加できず、ピアハウス全体の職員対応にもばらつきが見られ始めていたがサビ管(川崎)も同じく業務に追われ的確な指示や業務改善も行えていなかった。そんな状況が続き6か月後のモニタリングの際

【岡崎さんよりの報告】

「4月当初はピアハウスに帰ってきてからも、A型で働ける喜びからか、私にもいろいろと話してきてくれましたが、最近は久さんも疲れているようで会話は少ない」

「帰宅後の疲れについては以前と変わりはないと思います。」

「日課の家事については、最近はやり残して翌日に回してしまうこともあり、私が声掛けしてもやらない時もありました。」

「日野さんとリビング(共有スペース)で過ごしていることが多く、二人で楽しそうに話している姿をよく見る。ただ、たまに表情が悲しそうな顔をしていたり、怒っているような顔つきでいるので、「大丈夫ですか？」と声掛けするが『大丈夫だよ！』返答したので、特に対応はしてません」

「つい最近私に、『話がしたい』と本人が言ってきたので、世話人室で話を聞くと『一番最初の給与は3万円だったが、今は、6万円くらいもらえているので、自分の目標である、一人暮らしをしたいと思っている。次の休みの日に一緒にアパート探しをしてほしい』と言ってきた。

この話をした後くらいから日野さんも含め、ピアハウスの利用者に『もう俺は大丈夫だから、一人でやっていけるから』と言うようになった。」

事例②(1ヶ月～半年後の経過)その2

【サビ管（川崎）が気になるところ】

- ・久さんは以前スマイルで働いていた時より疲れているのではないかな？
- ・日課の家事のやり残しはどの程度かな？
- ・喜怒哀楽のばらつきがあるが心身の状態は？
- ・一人暮らしに気持ちが向いているが・・・
- ・また、担当の岡崎さんとの関係はうまくいっていないのではないかな？

【現在久さんのピアハウスにおける支援目標】

| | |
|-----------|---|
| 総合的な援助の方針 | グループホームでは生活上のさまざまな経験を積み、就労A型では自分で決めたことを守り、自信をもって仕事をする。また相談できる力をつけることや楽しみを見つけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標を達成できるように支援する。 |
| 長期目標 | ①掃除・洗濯・調理など 自分でできることはやる。 ②分からないこと、困っていることは相談し解決できるようになる。 ③余暇の時間を楽しみたい。(休みの計画を立てる) |
| 短期目標 | ①決まった時間に起きる。 ②担当と話をする。 |

情報シート「水道橋 久」(3年前～xxxx年9月)

| インタビュー | | アセスメント | アセスメント |
|--|--|---|---|
| 情報① | 情報② | 強み・経験・ポジティブ | 苦手なこと・ネガティブ |
| <ul style="list-style-type: none">・25歳男性 知的障害(軽度)・IQ68・障害支援区分3・175cm80kg(肥満傾向)・健康面問題ない・2人兄弟の長男として出生・小学校3年生の時に特別支援学級に移る・中学校に進級前に軽度の知的障害の判定。・中学は特別支援学校に入学・太鼓部に所属し楽しく過ごしている・昆虫が大好きで図鑑を見ている時は周りの声が聞こえないほど集中している・父親が大工のため木工作業に興味が高く、犬小屋も作った・中学2年の頃に両親が離婚・母は統合失調症で自分のことが精一杯になり家を出た・以後父と弟の3人暮らし・母には1年に2～3回会っている・父は家事等頑張っていたが徐々に家が乱雑になり、久さんも学校を休みがちになる・特別支援学校高等部を卒業後、製造部品を作る工場に就職。面倒見の良い上司だと安定して働ける・上司が変わり対応が変化したことで怖くなり退職している・久が退職後父親が交通事故にあい大けがをしてしまう・右半身まひが残り仕事がはできない。現在は生活保護・父は久の面倒が見れないと言っており、市役所に問い合わせ施設利用をお願いしている・本人も自分で生活できるようになりたいと言っている・「自分のことは自分でできるようになりたい」「一人暮らしに向けた準備をしたい」「働くための自信をつけたい」という希望や想いがある・親元を離れて共同生活援助ピアハウス、就労B型スマイルを利用している・朝起きることが苦手で、就労スマイルに遅刻してしまうこともある。 | <ul style="list-style-type: none">・情報①から2年後。ピアハウスでも生活を続けている。スマイルの仕事も行くことが出来ている。・カフェでの仕事(接客・皿洗い)を精力的にこなし、自信がついてきた。・就労B型で仕事が安定してきたため、隣町にできた就労A型の見学に行く。・ピアハウスでは新しい入居者が入った。・日野さんと2人の時間が多く、よく話しかけてくるため少し疲れている様子。・疲れから家事全般にやり残しや次の日に残してしまうことも増えている。・朝も世話人が繰り返し声掛けを行わないと起きることができない。・「一人暮らし」の想いが強いため、疲れていても頑張り過ぎていた様子も見られる | 個人能力 <ul style="list-style-type: none">・手先が器用・ADLは自立・日付、時刻は理解できる・数：二桁までは計算できる。三桁は難しい。・書字：筆圧は弱い・読み：二行程度はすんなりと読める。漢字も知っているが、読み違いもある。・聞き取り：一対一の指示や話をすることができる。・昆虫が好き・買い物が好き・ケーキやお菓子が好き・ゲームが好き・4～5工程の流れは理解・言葉よりも視覚的優位・父親が好き・カレンダーの理解・お金の価値を理解し給料を楽しみにしている | <ul style="list-style-type: none">・新しい環境、人・自分の想いを伝えること・高圧的な態度の人・集団での作業、話し合い・見通し：予測は苦手。自分の考えを述べることも難しい。誰かのまねをしていることもある。・三人以上はストレスが溜まる・朝起きることが苦手・自分のペースを乱されること混乱する・お金の使い方が苦手・清潔の保持・自分のルールを変えられること・自分はみんなより下だと思っている・やることがわからないとパニックになる・気持ちをコントロールすること・頼まれると断れない・整理整頓が苦手 |
| | 強みを生かした行動 | | |
| | <ul style="list-style-type: none">・一人でコツコツできる作業が好き・優しい上司がいると安心して生活することができる・気の合う人は一緒に時間を過ごすことができる・興味関心が強いことは集中して行う音ができる・決まったルールは行うことができる・1対1であれば誰かと話ができる・環境を整えることで自分の力を発揮することができる・スケジュールを取り入れることで行動に移すことができる・文字で書くよりもシールやスタンプを押すことができる・買い物ではお札を出してお金を払い、おつりをもらうことができる・自室で昆虫図鑑、昆虫カードを見ている。 | | |